

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2023年1月26日

事業所名：スクラムトライ児童発達支援放課後等デイサービス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	・活動に十分なスペースを確保している	はい:92% どちらともいえない:8% ・施設のスペースについては問題ないように感じる。 ・施設の外はもう少し広いと安心だが、工夫してくれていると思う。 ・2Fも使えるとうれしい。	・今後もできる限りの工夫をして、より安全快適に支援ができる環境造りに配慮していきます。
	2 職員の適切な配置	・適切な人員配置をおこなっている	はい:77% どちらともいえない:23% ・利用しているお子さんも多いので職員の人数は多ければより安心だと思う。 ・適正な配置かどうか知識がなくわからない。	・利用人数の多い日には職員を多く配置するなど、状況に応じて対応を変えていきたい
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・施設内はほぼバリアフリーとしているが、フロアとトイレの間には段差がある		・児童が怪我無く、過ごせるように危ないと思う箇所に注意喚起の案内をしていきます。 ・なるべく段差がなくなるよう、マットをしきり敷きしていきます
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	・清掃の箇所や手順等を定め、毎日清掃・消毒を行っている ・コロナ対策として定期的な換気など、感染予防対策を実施している		・毎日の消毒・清掃活動を継続して実施していきます。 ・職員の体調管理にも配慮し、コロナ対策を徹底していきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	・定期的なミーティングを行い、全職員で業務改善に努めている		・今後も定期的に話し合い、業務改善に努めていきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・第三者による外部評価を受審している		・より適正な業務管理のための体制づくりを今後も検討していきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・定期的に事業所内での研修を行っている		・職員の要望も聞きつつ外部での研修にも積極的な参加を検討していきます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	・アセスメントを正しく行うと共に、保護者のニーズを具体的に聞き取り、計画の作成をしている	はい:100%	・今後も各児童と保護者に寄り添い、より良い支援計画の作成に努めていきます。
	2 子ども状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	・児童の目標に合わせ、個別活動と集団活動を組み合わせながら計画を作成している ・児童ひとりひとりの状態に合わせた支援ができるよう、定期的な見直しに加えて日常で気づきがあれば支援計画の練り直しを行っている	・親の要望や意見を取り入れたうえで作成していただき助かっています。 ・デイ自体は行きたくないということもあったが、お友達とのデイでの交流を楽しみにしているようです。お友達を作る、一緒に楽しむことを一番考える親の希望にも沿っています。	・引き続き、児童の状態に合わせて個別活動と集団活動を適宜組み合わせた支援が行えるよう努めていきます。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	・計画等での必要な項目を設定し、連絡帳にその日に記載を行っている		・よりきめ細やかな項目の設定や支援内容の設定に努めていきます。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	・個々の計画に即した支援の実施をしている		・より支援計画に沿った目標の達成が出来るように適切な支援の実施を行っています。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	・職員ミーティングを実施し、それぞれ意見を出し合い、活動プログラムを決定している		・引き続き、職員で意見を出し合いながら、児童にとってより良い活動プログラムを作成していきます。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	・保護者と小まめに連絡を取り、その日の利用者の状況に合わせ、課題を設定している ・長期休暇の際には休暇を利用した長期的な目標設定をするなど、状況に応じた支援の実施に努めている	はい:77% どちらともいえない:23% ・季節に応じていろいろな支援を計画してもらっている。 ・いつも楽しく通わせてもらっているおかげで、家での様子もリラックスしていると思う。 ・コロナで大変な時でも、いろいろな計画・行事を入れてくださり、ありがとうございます。	・休日や長期休暇では平日にできないプログラムを取り入れ、児童が積極的に活動に取り組めるように工夫を凝らしていきたいと思います。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	・情報収集(書籍・ネット・研修)を行い、職員間でも常にアイデアを出し合い、常に固定化しないよう工夫をしている		・他事業所のイベント等も参考にし、より楽しく通所してもらえるよう工夫していきます。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	・毎朝職員でミーティングを行い、一日の支援の流れ、各々の役割などについて情報共有をしている		・今後も確認や、共有を徹底して行っています。 ・送迎等で不在の職員がいる場合も後で共有する習慣をつけ、伝達漏れのないよう努めます。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	・終了後に参加可能な職員で振り返りを行っている ・連絡帳を用いて記録を徹底し、職員間でこれまでの支援内容等を共有できるようにしている		・これからも、支援終了後のミーティングを通して情報の共有を図り、より良い支援に繋げていきたいと思っています。
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	・支援の取り組みは日誌及び連絡帳等に記載し、情報の共有をしている ・ケース記録に加え、必要な場合は個別記録をとりそれを共有している		・引き続き、情報の共有と記録を徹底し、次の支援に活かしていきたいと思っています。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	・半年に1回モニタリングを実施しており、必要に応じて随時会議を開き見直している		・引き続き、定期的な支援計画の見直しを行い、児童の状態にあった計画を作成するよう心掛けていきたい。
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	・管理者が出席している		・今後も継続して参加し、会議で得た情報は全職員で共有していきます。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当児童なし		・現在は該当児童がいませんが、受け入れがあった場合、対応していきたいと思えます。
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当児童なし		・現在は該当児童がいませんが、受け入れがあった場合、対応していきたいと思えます。
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	・計画相談事業所を通じて、支援内容・方法の情報の共有を行っている		・今後も継続していきます。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	・現在、対象児童なし		・必要に応じて対応していきたいと思えます。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・多職種連携も視野に入れ、今後の対応を考えていく必要性を感じているが、実行には移せていない		・職員に研修情報等を提供し、意欲的に参加できる体制の確保を目指します。
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	・コロナ禍もあり他の施設との交流や障害のない子どもと一緒に活動する機会は提供できていない	はい:15% どちらともいえない:55% いいえ:30%	・情報を発信し、交流できる先を増やしていけるよう努めます。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	・協議会で積極的に活動している		・地域に情報を発信できるような方法を考えていきます。
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・書面等を使って分かりやすく説明している	はい:100%	・今後も保護者の理解を深められるよう丁寧な説明を心掛けていきます。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	・パンフレットを用いて利用の説明を行っており、障害児支援利用計画についても併せて説明し、利用までの流れをお伝えしている		・今後もわかりやすい説明を心掛けていきます。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	・保護者からの相談に対しては、家族支援として個別に対応しているが、保護者への積極的なトレーニングの実施には至っていない		・保護者の悩みや子育てについて相談できる機会を増やす方法を検討していきます。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	・送迎時にお話ししたり連絡ノートを用いて、児童の様子についてお互いに理解を深められるようにしている	はい:100%	・今後も、より情報共有できるよう方法を検討していきます。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	・いつでも相談を受ける体制をとり相談助言を実施している	はい:85% どちらともいえない:15%	・専門的な立場から、家庭での悩み事の解決につながるアドバイスができるよう、職員の教育に努めます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	・保護者会の設置には至っていない	はい:7% どちらともいえない:31% いいえ:62%	・今後要望が多くあがるようであれば検討していきます。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	・対応は迅速に実施している	はい:93% どちらともいえない:7%	・職員間で問題を共有し、全員で対処方法を考えていきます。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	・保護者とは連絡ノート等を使って行っている	はい:85% どちらともいえない:15%	・わかり易く、丁寧な対応を心がけていますが、障害のある児童に対してはもっと工夫して表現していければと考えています。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	・個人情報の関係で会報等での公表は控えている ・連絡ノートを用いて個別にお知らせはしている	はい:62% どちらともいえない:38%	・交流機会を増やし、保護者のニーズに応えていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	・シュレッダー処理、名簿はオープンにしない等の配慮はしている	はい:93% どちらともいえない:7% ・プライバシーをしっかり守ってくれています。	・入所時に丁寧な説明を心掛けていきます。	
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	・各種マニュアルは策定している	はい:70% どちらともいえない:30% ・説明を受けたかもしれないが、記憶に残っていないので書面での説明があればなお良いと思います。	・今後も要望に対応したマニュアル作りを継続していきます。 ・職員、保護者ともにマニュアルの周知徹底に努めます。	
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	・十分ではない	はい:55% どちらともいえない:38% いいえ:7% ・訓練をされているのかどうかわからない	・保護者からの要望もあり、どのように行いかを早々に協議する必要があります。 ・訓練実施のめどが立てば保護者への周知も合わせて取り組んでいきます。	
	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	・研修に参加する機会は積極的に与えていく			・研修等積極的に知識や意識向上の為検討していきます。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	・対象児童無し			・今後必要な児童の受入れがあったときのためにマニュアルを整備するなど、対応方針を明確にしていきたいと思います。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	・保護者の方からの聞きとりがメインで、医師による指示書をもらうような対応は現状とっていない			・聞き取りを元にアレルギーの注意の必要な児童の一覧表を作成する等間違いが起きないように準備、運営を徹底していきます。 ・必要に応じて(アレルギーの種類が多い、程度が酷いなど)かかりつけ医からの指示書をもらうよう徹底します。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	・職員間で朝礼等で情報を共有している			・ヒヤリハットは職員会議で共有し法人全体で対策を共有していきます。 ・口頭の共有のみでなく、今後は事例集を作成し振り返り時間を設けるなど再発防止に努めます。